

Shade style by FEDE Ricco

シェードスタイルはタペストリーのようなフラットな形状を上下開閉することで窓辺がスタイリッシュでモダンな印象になります。全体を開閉せずに日差しを調整が可能ですので機能的で使いやすく、インテリアデザイン空間創りに必要なアイテムとして広まってきました。今回、VOL.07では、ファブリックを通してフェデらしいシェードスタイルをご提案したいと思っております。弊社の自社縫製工場では、それぞれの生地特性を熟知し、生地の持ち味を生かしながら縫製加工を行っています。シェードスタイルは窓のサイズに合わせて仕様やデザイン、そして生地の組み合わせを考えることでより使いやすいものになります。ファブリックの特長を生かしながら、個々の生活に合ったスタイルを創ることが大切だと思います。またシェードのメカ部分は消耗品ですから、メンテナンスを要する点をおすすめさせていただきます。

The Basic style

プレーンスタイル

このスタイルは生地が柔らかすぎると、畳上げられる際に、寄りたりゆがんだりしますので、ある程度の密度、張り感がある生地をお勧めします。下ろした状態では1枚のパネルのようになりますので、光の透過により、生地の質感、凹凸感を全面に映し出します。光を通した際の生地の見え方を確認しながら、その状態のイメージを持つことが大切です。



RC511 04 ビネオ



RC508 02 ガボオ
ボトホ-ダ-
RC59410 加子



RC578 02 ミア



RC518 03 カス
RC579 02 シガ

アラビックな印象の幾何学模様ダイナミックなデザインの前幕生地は平面で見ても高級感が感じられます。シアはスパン糸のスラブ調の風合いとタテヨコ糸の2トーンで見えるパティスト織りが光を透過することで柔らかい印象に。

遮熱シアと遮蔽効果の高いシアの組み合わせは、機能性を活かしたスタイルです。遮熱シアのメタリック感とナチュラルな平織りのエタミンの風合いが軽快感とモダンさを表します。

タックスタイル

タックシェードは水平のバーが約20cm間隔で全体に入り、横のラインがすっきりとモダンに映し出されるスタイルです。バーによって重さが加わり、すっきりと畳み上げられますので、シャープな印象を醸し出します。バーのピッチ変更が可能ですので、間隔を狭くすることで小窓へのバランスも取りやすくなります。水平のラインは障子のような印象も与えますので、和モダンの提案にも可能です。



RC518 01 丸ハッ
RC578 03 ミア+ボトホ-ダ-RC598 01 レール



RC639 01 ハルノ
RC561 05 リアラ

後幕生地は陶器の釉薬色とシャンタンシルクの光沢をイメージした平織り生地。薄手で張りがあるのでタックのバーが透けて横縞が綺麗に映ります。ストライプデザインのシアをプレーンシェードでフロントに配置しドレープのタックのシルエットと重なることで格子のデザインになります。



RC607 01 ミロ
RC587 05 ドン

フロントシアのパールとシルバークレーの配色が特長のあるバーアウトプリントは、光が透過することで大人っぽい美しさを表します。背景にはグラスグリーンを配置しシアの隙間から瑞々しさが現れます。後幕生地はシェード、シアはカーテンスタイルにすることで出入りの多い窓の利便性が良くなります。

Arrangement

細長いスリット窓や腰窓に印象的なアレンジを加えたスタイルをご紹介します。アレンジにおいて大切なポイントは、アートを飾るようにユニークな個々の感性と世界に一つしかないオリジナリティを表現することです。窓一面のフラットなスタイルによりデザインや素材感、個々のホームカラーをプラスすることでオリジナリティ豊かな印象を創り出すスタイルをご提案します。

Border design



RC598 17 レール



RC540 02 ホレ

シェードのボトムやトップに取り付けるボーダーデザインは目線を受ける腰窓に合ったスタイルです。巾や継ぎ生地の種類によってオリジナルの組み合わせが可能です。最大150mmまでをボーダーとしております。組み合わせる色によってボーダーの色を変えて、印象的なアクセントを作り出します。本体の生地が薄すぎると縫い合わせが出来ないのでありますので、シアの場合は注意が必要です。

RC540 01 ホレ+ホ-ダ-RC598 01 レール

Side Border



RC595 08 ケリ
サイドホ-ダ-RC598 24 レール

プレーンシェードの両サイドにつけるサイドボーダーはスリット窓や連窓などすっきりした窓へのお勧めのスタイル。ボーダー巾は30~100mm。コード式メカはW250から対応可能です。巾が狭いシェードの場合サイドボーダーをつけることで重量が増し、開閉時に安定感が出ます。

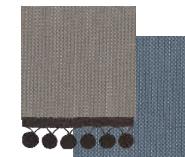
Accent Border



ナイロン製のポンポンを縫付けるスタイルで愛らしさが加わります。裾に付けたり、畳み上げの途中で縫付けてアレンジ可能です。



RC594 06/01 加子
RA826 02 ホルリッソ



RC590 04/05 77
RA826 03 ホルリッソ

Scallop



絵羽柄のレースの裾を活かすご提案です。昇降テープの縫い止め位置とボトムバーの位置調整で絵羽柄スカラップの部分をアクセントとして愛らしさを演出します。製作H寸法は絵羽の下までを基準とします。腰窓や小窓にお勧めです。

適応商品：RC635 01ベスカ
RC636 01ネオヴァンセンヌ

【裏側】

